

ルータの NVRAM への domain server (255.255.255.255)」メッセージを、ルータで無効コマンド入力後に表示されないようにする

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ホストから IP アドレスへの変換](#)

[「Translating... domain server \(255.255.255.255\)」のメッセージが発生する理由](#)

[「Translating.... domain server \(255.255.255.255\)」メッセージを回避するために、ホストから IP アドレスへの変換を無効にする](#)

[確認](#)

[関連情報](#)

概要

この資料はの問題に対処します 255.255.255.255 無効なコマンドの後でルータで現われるメッセージはユーザがイネーブルモードで入ります。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

[ホストから IP アドレスへの変換](#)

[「Translating.... domain server \(255.255.255.255\)」のメッセージが発生する理由](#)

デフォルトでは、ユーザモードまたはイネーブルモードでルータにコマンドが入力され、このコマンドが認識されない場合、ルータは、これはユーザが telnet を使用して到達しようとしているデバイスのホスト名であると見なします。したがって、ルータは IP ドメインのルックアップを実行して、認識できないコマンドを IP アドレスに変換しようとします。ルータ上に特定のドメインサーバが設定されていない場合、ルータはコマンドが IP アドレスに変換されるようブロードキャストを発行します。ルータが、ドメインネームシステム (DNS) ブロードキャストに対する応答を待機している間、ルータのプロンプトが戻るまで数秒かかることがあります。

注: また、vty/con/aux 回線で `transport preferred none` コマンドを使用して、ルータが無効なコマンドを IP アドレスに解決しようとするのを回避できます。DNS 情報は、他のコマンドの出力で使用できます。ただしルータから telnet セッションを開始する必要がある場合は、ホスト名の前に `telnet` キーワードを配置します。これは、ホスト名を入力しても自動的に telnet しないためです。ネームサーバのアドレスを指定するには、`ip name-server` コマンドを追加することを忘れないでください。

次の例は、ユーザおよびイネーブルモードでのルータのデフォルトの動作を示しています。

[ユーザモード](#)

```
R1>xxxxTranslating "xxxx"...domain server (255.255.255.255) (255.255.255.255)Translating
"xxxx"...domain server (255.255.255.255)% Unknown command or computer name, or unable to find
computer addressR1>
```

[Enable Mode](#)

```
R1#xxxxTranslating "xxxx"...domain server (255.255.255.255) (255.255.255.255)Translating
"xxxx"...domain server (255.255.255.255)% Unknown command or computer name, or unable to find
computer addressR1#
```

[「Translating.... domain server \(255.255.255.255\)」メッセージを回避するために、ホストから IP アドレスへの変換を無効にする](#)

不正なコマンドを IP アドレスに解決しようとするルータのデフォルト動作を無効にするには、グローバルコンフィギュレーションモードで `no ip domain-lookup` コマンドを入力します。このコマンドの詳細については、[ip domain-lookup](#) を参照してください。

[確認](#)

ドメインのルックアップが無効になったことを確認するには、ユーザモードかイネーブルモードでルータに無効なコマンドを入力します。ルータから DNS ブロードキャストは発行されず、直後にルータからプロンプトが戻ります。次に例を示します。

```
R1#xxxxTranslating "xxxx"Translating "xxxx"% Unknown command or computer name, or unable to find
computer addressR1#
```

[関連情報](#)

- [ドメイン ネーム システムについて](#)
- [シスコ ルータでの DNS の設定](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)